

BioCharger Water

植物活性剤 生菌入り

土壌伝染病の予防、連作障害含む土壌改良
発芽率の向上、防虫効果、成長促進に



■BioCharger Waterとは？

BioCharger Waterは、乳酸菌・枯草菌・納豆菌・酵母菌を植物性ミネラルと共に独自の方法で発酵させた植物活性剤です。この活性剤を水と混ぜることで、生菌が再活性化し、製造発酵時に生まれた植物の成長にもっとも大切なアミノ酸が豊富に溶け出します。

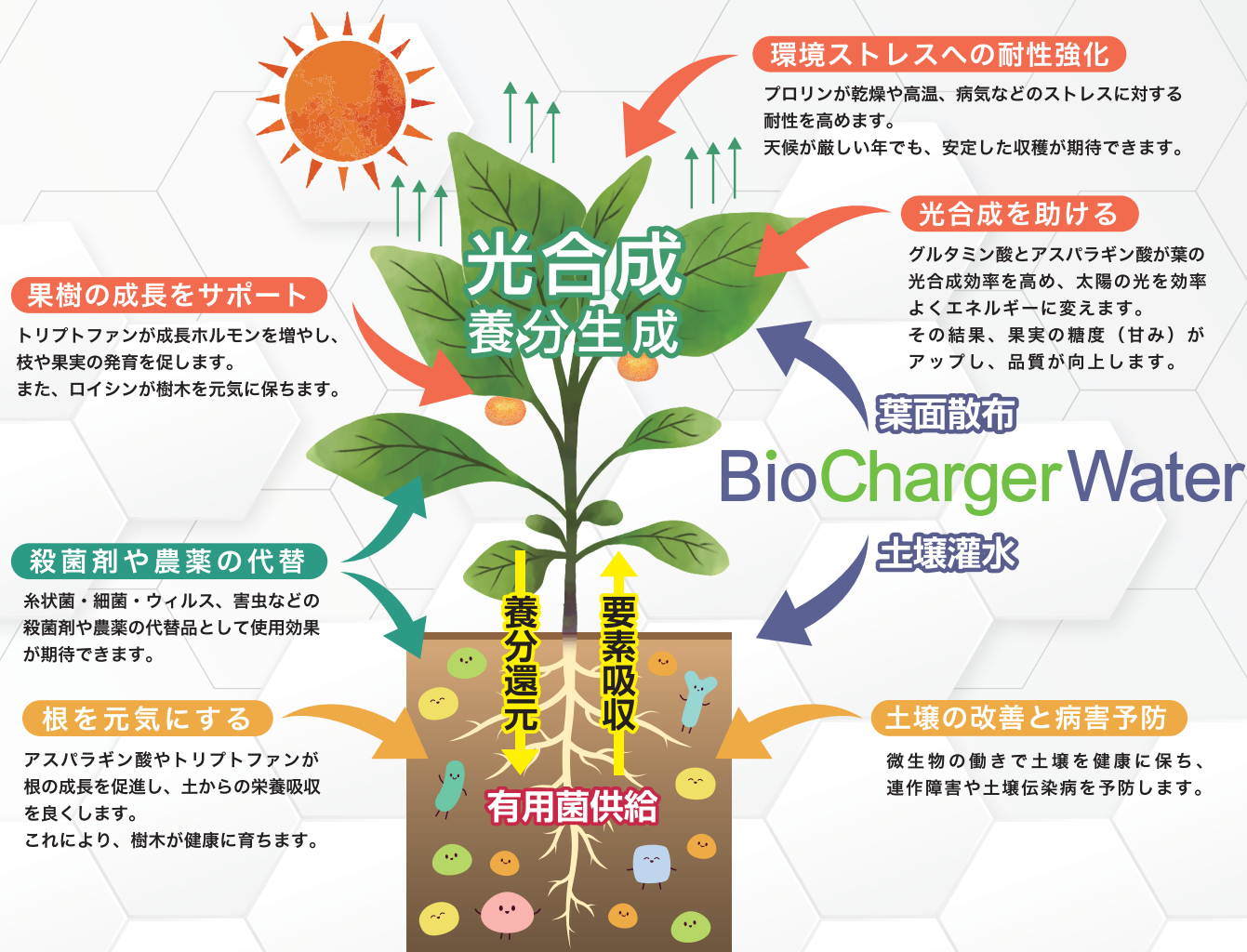
この多種のアミノ酸により、土壌伝染病の予防、土壌改良、発芽率の向上、成長促進、品質向上につながります。

■BioCharger Waterの基本作用

植物は太陽光エネルギーを利用して光合成を行うことで、二酸化炭素と水からグルコースというブドウ糖の一種を合成し、このエネルギーが植物の成長や果実の糖度アップに使用されます。BioCharger Waterから溢れ出すアミノ酸が光合成を支える「葉」「根」「ストレス対策」の3つの要素に働きかけ、果樹園や植物園の生産性向上をお手伝いします。

期待できる効果

発芽率向上・成長促進・連作含む土壌改良など微生物による発酵で、アミノ酸が多くなり、作物の育成が促進され耐性も強まり、品質や収穫向上につながります。



BioChargerWater 使用方法

Step 1

BioChargerWater を粉末のまま坪あたり 300g 程度散布する。



製品が微粉末であるため、飛散防止として多少濡らして使用することを薦めております。

Step 2

耕起後に BioChargerWater 水溶液を土壌へ灌水する。



樹木の場合、枝の先端が根の先端になるので、樹木の根本だけではなく、枝の先端の下の土壌まで灌水して下さい。

Step 3

約 7 日～10 日後に作付する。

Step 4

1 週間～10 日に一度、BioChargerWater 水溶液を葉面散布と灌水を実施する。



葉面散布する場合は、葉の表裏に散布してください。
害虫予防や、カビなども飛散してくるので、樹木や枝への散布も効果的です。

BioChargerWater 水溶液の作り方

BioChargerWater 希釈液は 500 倍希釈液にしてご利用ください。

500 リットル使用する場合

目の細かい洗濯ネットに 1Kg 入れて、約 1 時間 500 リットルのタンクに浸し、それを良く揉み出すだけで BioChargerWater 希釈液の完成です。

製品概要

製品名：BioChargerWater

分類：植物活性剤

効果：成長促進、発芽率向上、土壌改良、土壌伝染病の予防、防虫効果

対象：野菜・果物全般（路地栽培・ハウス栽培）

成分：大豆油粕、麩、植物性乳酸菌、枯草菌、納豆菌、植物ミネラル

安全性：農薬成分：不使用 / 重金属類：不使用 動物による急性毒素試験：異常なし

保存上の注意

※他の殺虫剤と併用は可能ですが、農薬や除草剤との併用は出来ません。

BioChargerWater の主要成分である生菌が死滅してしまいます。

※湿気を避けて保存してください。

生菌が再発酵による塊ができた場合は、潰してそのまま使用できます。

分析試験成績書

分析試験項目	結果
アルギニン	2.60%
リジン	2.21%
ヒスチジン	0.99%
フェニルアラニン	1.96%
チロシン	1.30%
ロイシン	2.97%
イソロイシン	1.75%
メチオニン	0.53%
バリン	1.86%
アラニン	1.73%
グリシン	1.72%
プロリン	1.96%
グルタミン酸	7.06%
セリン	1.99%
スレオニン	1.57%
アルバギン酸	4.39%
トリプトファン	0.52%
シスチン	0.55%

一般財団法人 日本食品分析センター
分析試験成績表 第 23062770001-0101 号

問い合わせ先



THOMLANG JAPAN CO.,LTD.

10th Floor, Time Square 3 Office Building, St.335, Khan Toul Kork, Phnom Penh.

E-mail: contact@thomlang-jpn.com



WEBSITE